

R6年度  
弟子屈町立美留和小学校

学校評価  
12月結果

|          |   |  |   |
|----------|---|--|---|
| 校訓       | ○勉学 ○勤労 ○健康                                   | 学校教育目標   | ○よく考える子ども ○助け合う子ども ○がんばるぬく子ども ○進んで仕事をする子ども ○強いからだの子ども   |
| 目指す子どもの姿 | ・「いい目」で学習する子ども<br>・「いい口」で自分の思いや考えを述べる子ども      | ・「いい耳」で友達や先生の話聴く子ども<br>・「いい鼻」で地域の良さを感じる子ども           | ・「いい心」で友達や先生と接する子ども<br>・「いい体」で明るく元気に過ごす子ども              |
| 目指す保護者の姿 | ・「いい目」で、児童の成長を見守る保護者<br>・「いい口」で、児童の成長を評価する保護者 | ・「いい耳」で、児童や教職員・地域の方々の話を聴く保護者<br>・「いい鼻」で、地域の良さを感じる保護者 | ・「いい心」で、児童や教職員・地域の方々と接する保護者<br>・「いい体」で、明るく元気に行事に参加する保護者 |
| 目指す教職員の姿 | ・「いい目」で、児童に指導する教職員<br>・「いい口」で、児童を褒め、認め、励ます教職員 | ・「いい耳」で、児童や同僚・地域の方々の話を聴く教職員<br>・「いい鼻」で、地域の良さを感じる教職員  | ・「いい心」で、児童や同僚・地域の方々と接する教職員<br>・「いい体」で、明るく元気に働く教職員       |

※「・」は評価項目のキーワード ※評価は、上段7月、下段12月 ※A:とてもそう思う(4点)、B:そう思う(3点)、C:そう思わない(2点)、D:まったくそう思わない(1点)

| 観点                   | No. | 児童アンケート  | 評価   | 保護者アンケート   | 評価  | 教職員自己評価アンケート   | 評価  |
|----------------------|-----|--|--|--|---|--|---|
| 子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育 | 1   | 先生方は、自分のことを、褒めたり、認めたり、励ましたりしてくれる。<br>・「すごいね」「よくできたね」「がんばろうね」など       | 3.5<br>3.4   | 学校は、児童を認め、褒め、励まし、やる気を伸ばす教育を充実させている。<br>・「先生に〇〇すごいって言われたよ」など            | 3.8<br>3.7  | 教職員は、日常的に、児童を認め、褒め、励まし、やる気を伸ばす働きかけや授業・教育活動を行っている。                  | 3.9<br>3.8  |
|                      |     | タブレットを使って、楽しく調べたり学んだりすることができている。<br>・「タブレット」「ロイロノート」「オンライン学習」など      | 3.6<br>3.6   | 学校は、ICT 機器(タブレット等)を効果的に活用し、授業を行っている。<br>・「今日ね、オンラインで〇〇の学習したんだよ」など      | 4.0<br>3.8  | 教職員は、ICT 機器(タブレット等)を効果的に活用し、ロイロノートやオンライン学習などを取り入れた授業を行っている。        | 3.9<br>4.0  |
|                      | 3   | 学習すると、「わかった」「できた」「楽しい」と思うことが多い。<br>・「〇〇できた」「〇〇わかった」「〇〇楽しかった」など       | 3.5<br>3.4   | 学校は、「わかった」「できた」を大切にしたい「楽しい」と思える授業を行っている。<br>・「今日ね、〇〇ができてうれしかったよ」など     | 4.0<br>3.8  | 教職員は、授業研究と授業改善を心がけ、児童が「わかった」「できた」「楽しい」と思える授業を行っている。                | 3.4<br>3.8  |
|                      |     | 4  | 先生方は、自分が困ったり悩んだりする時に、助けてくれたり支えたりしてくれる。<br>・「大丈夫?」「元気出してね」「一緒にがんばろうね」など | 3.4<br>3.4   | 学校は、児童一人一人を大切にしたい教育を行っている。<br>・「今日ね、〇〇の時に、先生が声をかけてくれたよ」など                 | 3.8<br>3.9   | 教職員は、インクルーシブ教育を目指し、ユニバーサルデザインを意識して、児童一人一人を大切にしたい働きかけや授業・教育活動を行っている。 |
|                      | 5   | キャリアパスポートを使ったり、将来のことを考えたりして、目標に向かって努力している。<br>・「キャリアパスポート」「めあて・努力」など | 3.5<br>3.3   | 学校は、地域と連携したり、キャリアパスポートを活用したり等、キャリア教育を充実させている。<br>・「今日ね、めあてをクリアしたんだよ」など | 3.8<br>3.6  | 教職員は、地域と連携したり、キャリアパスポートを活用したり等、児童一人一人の将来のためのキャリア教育を行っている。          | 3.3<br>3.5  |
|                      |     | 6  | 自分は、社会見学などで、町や地域のことを調べたり、いろいろな文化を学んだりしている。<br>・「社会見学」「ふるさと学習」「出前授業」など  | 3.8<br>3.8   | 学校は、町や地域を調べたり、他地域の文化を学んだり、ふるさと教育を充実させている。<br>・「今日ね、〇〇に行って、△△学んだよ」など       | 4.0<br>3.9   | 教職員は、町や地域・関係機関との連携を密にし、児童がふるさとを学べる教育の実践を行っている。                      |
| 学びの機会を保障し質を高める環境     | 7   | 学校や家では、いろいろな種類の本を読んでいる。<br>・「朝読書」「読み聞かせ」「お家でゆっくり読書」など                | 3.0<br>3.3   | 学校は、豊かな感性を身につけさせるために、読書の楽しさを味わわせている。<br>・「今日ね、〇〇という本を読んだよ」など           | 3.6<br>3.7  | 教職員は、児童に豊かな感性を身につけさせるために、読書環境を整え、読書に親しむよう指導している。                   | 3.9<br>3.9  |
|                      |     | 8  | 自分から進んで、農園・花壇の作業をしたり、駅の清掃をしたりしている。<br>・「農園の水やり」「花壇作業」「地域・3.4駅舎清掃」など    | 3.4<br>3.4   | 学校は、家庭・地域と協力しながら、自然・人・産業に関わる体験的な教育活動を行っている。<br>・「今日ね、〇〇に行って、△△して楽しかったよ」など | 3.8<br>3.9   | 教職員は、家庭や地域・関係機関との連携を密にし、児童が自然・人・産業に関わる体験的な教育活動の実践を行っている。            |
| 地域と歩む持続可能な教育         | 9   | 学校や地域、家でも、自分から進んであいさつしたりマナーを守ったりしている。<br>・「朝のあいさつ」「お客様へのあいさつ」など      | 3.4<br>3.8   | 学校は、挨拶や礼儀、マナーを守ること等の大切さを指導している。<br>・「今日ね、大きな声であいさつできたよ」など              | 3.7<br>3.4  | 教職員は、自ら笑顔と明るい挨拶を心がけ、児童が、場に応じた挨拶や言葉遣い、時間を守ることや時と場に応じた言動ができるよう努めている。 | 3.6<br>3.8  |
|                      |     | 10   | 友だちや先生と仲良くしたり、やさしくしたりしている。<br>・「なかよく遊ぶ」「困っていたら助ける」など                   | 3.2<br>3.6   | 学校は、協調性や思いやり、豊かな心を育む教育を行っている。<br>・「今日ね、ケンカしたけど、仲直りして遊んだよ」など               | 3.8<br>3.6   | 教職員は、自らの人間性を高めつつ、児童が友達や先生と仲良くしたり、友達に思いやりを持って接したりできるよう、適切な指導を行っている。  |
|                      | 11  | 学校や家では、自分から進んで、たくさん運動をしている。<br>・「朝の体力づくり」「マラソン」「運動会の練習」など            | 3.1<br>3.4   | 学校は、体力づくり等、体力向上のための取組を行っている。<br>・「今日ね、体育の時間、〇〇がんばったんだよ」など              | 4.0<br>3.8  | 教職員は、児童に体力向上の意義を伝えるとともに、意欲的に体を動かす喜びを実感できるような活動の工夫を行っている。           | 3.5<br>3.8  |
|                      |     | 12   | 自分から進んで、健康に気をつけたり、そうじをしたりしている。<br>・「給食を残さず食べる」「毎日のそうじ」など               | 3.3<br>3.4   | 学校は、安全で衛生的な学校環境や活動を充実させている。<br>・「避難訓練したんだよ」「給食残さず食べたよ」など                  | 3.8<br>3.8   | 教職員は、児童に生命の尊さや安全で衛生的に生活する意義を伝えるとともに、衛生的な環境を整えたり、活動の工夫をしたりしている。      |
|                      | 13  | 早寝早起きや清潔な身なりをすること、朝ご飯を食べることなどに気をつけている。<br>・「早寝・早起き・朝ごはん」「生活リズム」など    | 3.3<br>3.3   | 学校は、家庭と連携し、児童に基本的な生活習慣・食習慣を身につけさせる取組を行っている。<br>・「今日は早く寝て、明日は早く起きるね」など  | 4.0<br>3.7  | 教職員は、家庭と連携し、児童に基本的な生活習慣・食習慣が身につくよう指導している。                          | 3.1<br>3.8  |

|          |   |  |   |
|----------|---|--|---|
| 校訓       | ○勉学 ○勤劳 ○健康                                   | 学校教育目標   | ○よく考える子ども ○助け合う子ども ○がんばるぬく子ども ○進んで仕事をする子ども ○強いからだの子ども   |
| 目指す子どもの姿 | ・「いい目」で学習する子ども<br>・「いい口」で自分の思いや考えを述べる子ども      | ・「いい耳」で友達や先生の話聴く子ども<br>・「いい鼻」で地域の良さを感じる子ども           | ・「いい心」で友達や先生と接する子ども<br>・「いい体」で明るく元気に過ごす子ども              |
| 目指す保護者の姿 | ・「いい目」で、児童の成長を見守る保護者<br>・「いい口」で、児童の成長を評価する保護者 | ・「いい耳」で、児童や教職員・地域の方々の話を聴く保護者<br>・「いい鼻」で、地域の良さを感じる保護者 | ・「いい心」で、児童や教職員・地域の方々と接する保護者<br>・「いい体」で、明るく元気に行事に参加する保護者 |
| 目指す教職員の姿 | ・「いい目」で、児童に指導する教職員<br>・「いい口」で、児童を褒め、認め、励ます教職員 | ・「いい耳」で、児童や同僚・地域の方々の話を聴く教職員<br>・「いい鼻」で、地域の良さを感じる教職員  | ・「いい心」で、児童や同僚・地域の方々と接する教職員<br>・「いい体」で、明るく元気に働く教職員       |

| No. | アンケート項目                              | 分析・考察・展望  |
|-----|--------------------------------------|---|
| 1   | 「褒める・認める・励ます」を意識し、児童のやる気を伸ばす教育の充実    | 大人であっても、「褒められる事」「認められる事」「励まさせる事」は嬉しい事です。今後もドンドンやる気スイッチを伸ばしていきます。                    |
| 2   | ICTの活用による個別最適な学びと協働的な学びの一体化を表現する授業改善 | 学校ではオンライン学習も増えてます。ICT機器は今の時代には無くてはならないもの。使いこなしながら、より良い学びとなるよう取り組んでいきます。             |
| 3   | 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善              | 積極的に一人で学ぶ時間、みんなで仲良く学び合う時間、どちらも大切にしたいテンポの良い楽しくわかる授業を今後もしていきます。                       |
| 4   | インクルーシブ教育の理念に基づいた特別支援教育の充実           | 児童一人一人が「寄り添ってもらえていること」「支えてもらえていること」を、より実感できる、寄り添いや声かけ・指導・支援等を続けてまいります。              |
| 5   | 地域と連携しキャリアパスポートを活用したキャリア教育の充実        | 今年度は、高学年で、自分の夢に向かって、対面やオンラインによるキャリア学習を実践しました。今後も近い未来や遠くの未来に向かって努力できる力を培っていきたくと考えます。 |
| 6   | 地域づくりに主体的に参加する意欲や態度を育むふさと教育の充実       | 「本物を見て、触れて、感じる教育活動」は、美留和小のストロングポイントです。今後も人材等を存分に活用した活動となるよう、努力してまいります。              |
| 7   | 学校や家庭における自主的・自発的な読書活動の推進             | 読み聞かせをはじめ、「図書に触れる・親しむこと」は、豊かな心づくりに繋がる大切な活動だと思います。時に、ご家庭の協力も得ながら、指導を続けてまいります。        |
| 8   | 本物に触れる体験や地域素材を積極的に活用した豊かな体験活動の推進     | 項目6と同様、「豊かな体験活動」は、美留和小のストロングポイントです。今後も充実した活動となるよう、努力してまいります。                        |
| 9   | 「考え議論する道徳」を要とする道徳教育の充実               | これからも高い評価をいただき、実際の生活の場面でも実践できるよう、引き続き、教職員共通理解のもと、挨拶や言葉づかい等の指導を行ってまいります。             |
| 10  | 望ましい人間関係を自発的に形成する態度を育む取組の充実          | 一部教科担任制を加え、これからも、全児童を全教職員で見守り、適切な声かけや学習指導・生徒指導を続けてまいります。                            |
| 11  | たくましく生きるための体力を育む教育の充実                | 1学期は「大運動会」、2学期は「美留和マラソン」の取組を中心に体力作りに励んできました。3学期は「スケート学習」「スキー学習」を中心に、体力作りに励んでまいります。  |
| 12  | 安全や衛生、健康等に関する教育の充実                   | これからも、自分の命や周りの人の命のこと、安全で衛生的に生活することの大切さを伝え続け、自ら進んで実践できるよう指導をしてまいります。                 |
| 13  | 望ましい生活習慣や食習慣の定着                      | 「早寝・早起き・朝ご飯」「適度な休息」「整った生活リズム」を児童自らが意識実践できるよう、時に、ご家庭の協力も得ながら、指導を続けてまいります。            |

**保護者 自由記述欄より**

○児童増加に伴って、その分、先生方の負担も大きくなるかと思えます。ぜひ負担を減らす方法を！  
○参観授業が楽しかったです。先生の教え方もテンポ良く子どもの個性を汲み取った授業でした。  
○人との繋がりを多く学べる学校だなと改めて実感しました。  
○子ども達一人一人の個性を大切にしていることが伝わってきて、あたたかい気持ちになります。  
○学芸会はお年寄りも多くいるので、聞き取りやすい工夫があっても良いかと思いました。  
○とても温かく迎え入れて下さり嬉しかったです。理解して肯定してもらえた嬉しさは言葉になりませんでした。  
○いつも一人一人見守って下さる先生方には、感謝感謝です。  
○美留和小の教育活動には「愛」を沢山感じているので、安心して学校へ通わすことが出来ています。  
○一人一人の夢に寄り添った「生きた授業」をして下さり、感謝しています。  
○学芸会については、「美留和劇場最高!!」の一言です。※同意見多数  
○自信がついたり、自己肯定感が上がったりしている気がします。熱心かつめげずに(笑)毎日指導して下さっている先生方に感謝しています。親も美留和小学校ライフを楽しませてもらっています。  
○「あいさつ」をもう少しできるようになるといいなと思いました。

**教職員 自由記述欄より**

○子ども達が毎日楽しそうに学校に来ているのが素晴らしいなと思えます。  
○学芸会では、机上の勉強の何倍も子ども達の自信や肯定感や達成感や勇気などを向上させる事ができてよかったです。  
○学校が生きていると感じます。  
○転入してきた児童も、打ち解け、毎日全員が学校に登校できたことが大きな成果・収穫と感じています。  
○すべての教職員が子ども達の特徴を理解し、気持ちを受け止め、サポートできた事が、美留和小の「強み」であり、魅力なんだと改めて実感しています。  
○児童数が増加し、様々な子ども達がいる中、「全員でできる行事」「工夫すると全員でできる行事」「全員では難しい行事」など、今の子らにあった教育活動を考えていかなければならないと感じています。  
○一部教科担任制や倅和園訪問は、次年度もぜひ続けていきたいと感じました。  
○学芸会会場の「児童の作品」「おひるねアート」は、学芸会に「彩り」を与えてくれました。

**学校運営協議会より**

○美小の子ども達同様、教職員の方々の自主性・主体性もレベルアップしているのがわかります。  
○美小の子は、学校外の場面でも、明るく元気が良く、特に小さな子に優しく接することができています。  
○保護者の高い評価が子ども達の成長と生き生きとした学びに繋がっているようです。  
○美留和小卒業生達も各方面で活躍しています。美小で身につけた力を発揮しています。

「児童」「保護者」「教職員」のアンケート後、学校運営協議会の皆様にも評価をして頂きました。「分析・考察・展望」の欄にもありますが、アンケートの結果につきましては、良くても悪くても、謙虚かつ真摯に受け止め、『より良い教育活動』を目指して、教職員一同、今後もより一層頑張っていきたいと考えております。アンケートへのご協力、大変ありがとうございました。今後とも宜しくお願い致します。